

喜界町

図書館だより

9月号



【通算 第243号】
2016(平成28)年9月1日発行

〒891-6201
喜界町大字赤連字樋口前30番地
TEL: 0997-65-0962
FAX: 0997-65-2523
e-mail: kikailib@town.kikai.lg.jp

ブックスタート

図書館からの
プレゼント!

(コットンバッグ・絵本)



赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくり
心ふれあうひとときを持つきっかけづくりの
お手伝い。

★受け取りは0歳児のみ。 図書館にて随時受付。

***** 2016 ～めざせ図書館の達人～

小学生図書館クイズ大会盛況に終わる*****

去る8月14日(日)に行われた小学生図書館クイズ大会には町内外から31名の子ども達がクイズ大会にエントリー。当日は開館前から数人の子もたちと親子連れが来館。クイズの問題は低学年と高学年にそれぞれ10問が出題された。問題用紙をもらった子どもたちは、早速書棚にある資料で調べたり本を読んで調べたりして問題にチャレンジしていた。参加者31名のうちクイズ王は20余名であった。参加者全員に職員手作りの葉がプレゼントとして贈られた。また、クイズ王には認定証として賞状が授与された。

また、二階の読書室では一日3回上映されたアニメ映画「ヒックとドラゴン」(ヘチャメチャ冒険物語シリーズ:館内に1～10巻有)が上映され、大盛況であった。東京から帰省していた2年生の子どもは「来年もクイズ大会ありますか。また来ます。楽しかったです。」と言って嬉しそうに話していた。

*《土俗を物語る島の民謡》==汐道長浜(シミチナガハマ)節の物語== (8月号からの続き)

そんなある雨風の荒(すさ)ぶ夜道を、馬に乗った盛里が彼女けさ松の家に訪れて来た。今宵こそは、と考えてきたのであろう?訪れる人もなく二人きりなのを幸いと考えた彼は、例の如く、くどいたが言葉巧みにかわされて目的を達することが出来ないで、意を決したらしく、力づくでも手ごめにしようと迫ってきたのである。彼女は、とっさの間に「あなたが、私のいうことを聞き入れるなら、一緒に長嶺へ行こう。」と、浜辺へ誘い出したのであった。そこには、盛里が乗ってきたトッピームーマー(物怖じしやすい牝馬のこと)がつかないであった。彼女は、盛里がうまに荷鞍(にぐら:駄馬に荷物を負わせるための鞍)をおいたのを見届けてから、「貴方は、その荷縄で御自分の身体をくくりなさい。私は、片方の荷縄に身をしばりつけよう。」と言ったという。けさ松が、「自分のものになる」と早合点した彼は、何のためろう事もなく、言われるままに、一方の荷縄で自分の身体を括(くく)りつけてしまった。その括り終わった頃、けさ松が唐傘(からかさ:割竹の細い骨に紙を貼って油をひき、柄をつけてろくろで開閉し得るようにした傘)をパッと開いたからたまらない。物怖じしやすい盛里のトッピームーマーのことであるから、急に、物に突かれたように飛び出し、塩道の長浜を一散に駆けだしたのである。(続く)

【参考資料】:『喜界島古今物語』(三井喜禎 著)『広辞苑』(岩波書店) (文責:登山 典壽)

お知らせ

返却期限は、
守りましょう!

お疲れさまでした。
「一日図書館長」

「赤ちゃんおはなしかい」

日時: 毎月第一金曜日 午前11:00より

0～2歳児の赤ちゃんと保護者に読み聞かせ
や手遊びをします。お気軽にご参加ください!

「うも〜い図書館へ」(映画鑑賞会)

9月20日(火)～9月23日(金)

「紅白が生まれた日」(DVD)

国民的歌番組の誕生秘話

1日3回上映(無料)

①11:00～12:15 ②14:00～15:15 ③16:00～17:15
ご都合の良い時間帯にご鑑賞ください。

7・8月の夏休みの土・日曜日に、喜界小4人・早町小2人喜界中4人の10人が「一日図書館長」の体験をしました。登山館長より、一日館長の任命書を受け取ったあと、本の配架やカウンターでの貸出・返却などの仕事を一生懸命がんばっていました。

《一日図書館長の感想から》

- ・ ぼくが一番びっくりしたのは、図書館のみんながいつもならべるところ以外にも、すごい本だながあつてとてもすごかったです。
- ・ 私が一番びっくりしたことが3つありました。一つ目は、休まずにいろいろな仕事があつたことです。2つ目は、「南海日日新聞」と「大島新聞」が図書館ができる前の新聞が残されていることです。3つ目は、この図書館の倉庫に1万冊の本が閉まってあるところでした。
- ・ 一日館長をしてみても、ふだん使っている図書館は、働いている人の努力がたまっているなあと思いました。
- ・ 本をもとにもどすとき、ちゃんと正確に直さないとお客さんがこまるということを、やってみて分かりました。
- ・ 本の貸出や返却、返却された本を棚にもどすこと、学校などへの貸出しの準備、返却などわたしたちは、1日だけでしたが、みなさんは、毎日してすごいいいと思いました。